

平成 24 年就業構造基本調査  
(2012)

静岡県の結果の概要

平成 25 年 10 月 11 日

静岡県企画広報部情報統計局統計調査課

# 目 次

## 〈結果の概要〉

	頁
<b>I 15歳以上人口の就業状態</b>	
<b>第1 有業者及び雇用者の就業状態</b>	1
1 有業者と無業者の状況	
(1) 有業者は194万7千人、平成19年に比べ13万4千人の減少	
(2) 無業者は男性が6万人、女性が3万1千人の増加	
2 有業率	1
(1) 有業率は60.3%、全国第4位	
(2) 有業率は男性のほぼ全ての年齢階級と女性の25～59歳及び75歳以上で低下	
3 有業者の従業上の地位	3
(1) 「雇用者」「自営業主」「家族従業者」の全てが減少	
(2) 高齢化が進む「自営業主」と「家族従業者」	
4 雇用者の雇用形態	4
(1) 「正規の職員・従業員」は、男性雇用者の73.6%、女性雇用者の39.9%	
(2) 多くの年齢階級で減少した「労働者派遣事業所の派遣社員」	
<b>第2 産業大分類別、職業大分類別の就業状態</b>	
1 産業大分類別の状況	6
(1) 男性は「製造業」、女性は「卸売業、小売業」が最も多い	
(2) 「医療、福祉」、「宿泊業、飲食サービス業」などが増加、「製造業」が大きく減少	
2 職業大分類別の状況	7
(1) 男性有業者の25.5%が「生産工程従事者」	
(2) 「正規の職員・従業員」が4割以下の「サービス職業従事者」	
<b>第3 年間就業日数・週間就業時間</b>	
1 年間就業日数	9
(1) 男性有業者の半数以上は年間就業日数が250日以上	
2 週間就業時間	9
(1) 男女とも42時間未満の短時間就業者の割合が上昇	
<b>第4 就業希望の状況</b>	
1 有業者の就業希望意識	10
(1) 継続就業希望者は80.6%、前回より0.4ポイント上昇	
(2) 転職希望者の割合は連続して低下	
2 無業者の就業希望意識	11
(1) 就業希望者は無業者の21.8%	
(2) 女性求職者は35～39歳が最も多い	
<b>II 県内経済圏の就業構造</b>	
<b>第1 就業状態</b>	
1 有業率	12
(1) 「県内経済圏」別の有業率は「志太榛原・中東遠」が最も高い	
(2) 生産年齢人口の有業率も「志太榛原・中東遠」が高い	

2	有業者の産業別割合	12
3	従業上の地位別・雇用形態別割合	13
第2	過去1年間の転職就業者	13
第3	職業訓練・自己啓発の状況	14
第4	夫婦共働き世帯の就業の状況	14

## 〈主要統計表〉

- 第1表 就業状態、年齢、男女別15歳以上人口及び年齢、男女別有業率の推移－（昭和57年～平成24年）
- 第2表 男女、年齢、従業上の地位、雇用形態別有業者数－（平成19年、24年）
- 第3表 男女、産業、従業上の地位、雇用形態別有業者数－（平成19年、24年）
- 第4表 男女、職業、従業上の地位、雇用形態別有業者数－（平成19年、24年）
- 第5表 男女、年間就業日数・就業の規則性、年齢別有業者数－（平成19年、24年）
- 第6表 男女、週間就業時間、年齢別有業者（年間200日以上就業者）数－（平成19年、24年）

- 付1 平成24年就業構造基本調査の概要
- 付2 主な用語の解説

### 【就業構造基本調査について】

就業構造基本調査は、我が国の就業・不就業の実態を明らかにすることを目的とし、昭和31年の第1回調査以来ほぼ3年ごと、57年以降は5年ごとに実施している。

今回公表するものは、総務省統計局が平成25年7月に公表した統計表の本県分を分析したものである。

### 【利用上の注意】

- 1 統計表の数値は、総数に分類不能又は不詳の数値を含むため、また、表章単位未満の位で四捨五入しているため、総数と内訳の合計とは必ずしも一致しない。
- 2 増減率、割合等は、表章単位の数値から算出している。
- 3 統計表中の「0」、「0.0」は、集計した数値が表章単位に満たないものである。また、「－」は、該当数値のない箇所である。
- 4 調査結果の詳細は、統計局ホームページを御覧ください。

〈ホームページURL〉 <http://www.stat.go.jp/data/shugyou/2012/index.htm>